

## 地方創生推進交付金等を活用した事業（令和2年度）実績について

地方創生推進交付金等制度要綱に基づき、効果検証を実施するため外部有識者等に意見を聴取する

交付金名称	地方創生推進交付金		
事業の名称	実施内容	実績（KPI等）	備考
成長分野拠点形成支援事業（ものづくり推進課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済牽引事業者が海外での提携企業・顧客開発を効果的に進めるための費用の一部を助成した。</li> <li>・業務委託により、構成企業の先進的な取り組みの紹介、更なる連携を促すためのセミナー開催、クラスター構成企業がきめ細かい支援を受けながら事業を進めるための専門家派遣体制の構築、専属コーディネーターによる産学官連携支援を実施し、構成企業の連携を強め、共同開発を促した。さらに、就職関連イベントにクラスターとして出展するとともに、クラスター構成企業と学生との交流会の開催や、インターンシップを実施することで、多くの学生に対し、クラスター構成企業の存在をアピールした。</li> <li>・地域経済牽引事業者が実施する事業を支援するため、ホームページにて情報発信。</li> </ul> <p>①盛岡市クラスター活動支援業務委託 11,020 千円 ②盛岡ヘルスケア産業協議会負担金 78 千円 ③盛岡市医療福祉機器等販路開拓支援事業補助金 10,533 千円</p>	<p>TOLIC 会員ものづくり企業への地元高等教育機関卒業生就職者数 14 人</p> <p>TOLIC 会員ものづくり企業数 20 社</p> <p>クラスター構成企業による海外取引にかかる売上高 252,455 千円</p>	実施期間 R1～R3 年度
盛岡ファン・コミュニティの活動支援 関係人口当と地域課題のマッチング支援等 官民連携による移住・交流	<p>雇用、観光、地域経済、農業などの各分野での現状や課題などの把握や既存事業との関係性を考慮した上で、イベント開催などのほか、マーケティング手法を構築しながらホームページやSNS、マスメディアによる双方向を意識した情報発信を行い、東京圏の潜在的な移住・交流ニーズに的確に対応することで、特産品購入やふるさと納税など東京圏にしながら盛岡との関係性を築くことができる環境を整備するものである。</p> <p>また、高校生などの若者に盛岡で働くイメージを持つ機会を提供することで、長期的な視点から若者の盛岡への還流を促進するほか、東京圏からの交流や移住の希望者が、「仕事」や「暮らし」を一体的に体験できる環境や、地域と交流できる拠点を整備し、移住や交流につながる新たな仕組みを構築することで、移住・定住の促進を図ろうとするものである。</p> <p>具体的には、地域おこし協力隊を配置しながら、以下の事業を実施しようとするものである。</p>	<p>①事業を通して、盛岡を訪問した人数 目標 100 人 実績 143 人</p> <p>②事業を通して、ふるさと納税を行った人数 目標 200 人 実績 322 人</p>	実施期間 H30～R4 年度

<p>を促進するための拠点の整備</p> <p>お試し居住事業（盛岡広域移住・定住促進事業を含む。）</p> <p>移住・定住の促進にかかるプロモーション</p> <p>シティプロモーションの推進（インナープロモーション）</p> <p>（都市戦略室）</p>	<p>1 関係人口の増加を機軸とした東京圏における移住・定住の促進</p> <p>(1) 盛岡ファン・コミュニティ活動の活性化，盛岡コミュニティ形成等に係るイベント開催，関係人口の対象となる人の把握やコミュニティ，関係性のある場所（飲食店，小売店など）のデータベース化</p> <p>(2) 東京における相談支援機能の強化（イベント出展，東京事務所でのテレビ電話環境の整備等）</p> <p>(3) 移住・定住に係る効果的な広報活動の展開 特設ホームページの開設，PR 冊子の作成，プロモーションツールの作成等</p> <p>2 盛岡の暮らしや仕事を体験できる環境，官民連携の交流拠点の整備</p> <p>(1) 食文化，さんさ踊りなどの祭り，アウトドアスポーツなどの盛岡の暮らしを体験できるコンテンツ，中途採用向けのインターンシップなどの受入れ環境の整備</p> <p>(2) 高校生等が将来的に盛岡で働く・暮らすことをイメージできる冊子や web ページなどのコンテンツ作成</p> <p>(3) 盛岡と東京圏それぞれの，盛岡に関連するコミュニティや活動，キーパーソンをマッチングできる交流拠点の整備（民間団体等との連携による。）</p> <p>3 新たな I T 技術（AI, IoT, ブロックチェーンなど）を活用した広報・マーケティング戦略や，関係人口をつなぐ環境の整備</p> <p>(1) 効果的な情報発信やマーケティング手法の構築 情報発信やイベント開催などの効果を検証するため，特設ホームページのアクセス解析などによるデジタルマーケティングを行うほか，マーケティング結果を基に，受け手に効果的に情報を伝えるためのデザインを迫及した情報発信のアプローチや，人工知能（A I）の活用を検討など，より効果的な事業展開が可能となる環境を整備しようとするものである。</p> <p>(2) 関係人口をつなぐ新たな仕組みの構築 盛岡をキーワードとした仮想通貨の発行による交流促進の検討など，新しい IT 技術を活用しながら関係人口をつなぐことができる環境を整備しようとするものである。</p>	<p>③事業を通して，移住した移住者数 目標 20 人 実績 37 人</p> <p>④事業を通して，データベースに登録した人数 目標 1,000 人 実績 1,757 人</p>	
--	---	--	--

交付金名称	地方創生拠点整備交付金		
事業の名称	実施内容	実績（KPI等）	備考
スポーツ・ツーリズムの推進（施設整備）  （スポーツ推進課）	「いわてグルージャ盛岡」のホームスタジアムである「いわぎんスタジアム（盛岡南公園球技場）」にJリーグのスタジアム基準を満たす照明整備により、施設の充実による大会・合宿受入れやプロスポーツチームの観戦を核としたスポーツ・ツーリズムによる交流人口の増加を図る。	グラウンド利用者数 14,893人  Jリーグ観客数 512人/試合	実施期間 R2年度